



真保家の田んぼ



弊社工場裏の大豆畑

二十四節気 霜降 そうこう 露が冷気によって霜になり降り始める頃
紅葉が始まります

当地の田んぼの稲刈りは終わりました。

残っているのは大豆のみです。

大豆もエンレイという早い品種の刈り取りが始まったようです。

大豆を作っている農家さんは、もうしばらく忙しい秋が続きます。

◎◎ 今年の収量は？ ◎◎

農林水産省は10月14日、令和4年産の

予想収穫量を発表しました。

作況指数について新潟は、**平年並みの100**。

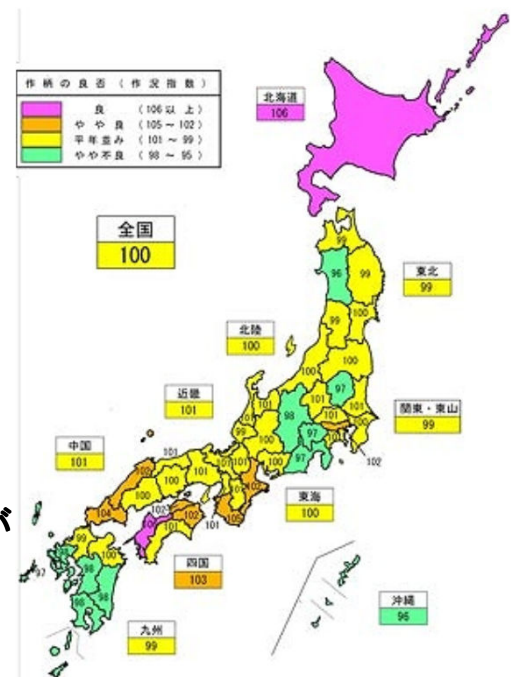
集荷で伺った際や、その後で各農家さんに
収量について聞いていました。

田植えの早い農家さん等については、**コシヒカリの
10aあたりの反収は9俵半**という声が聞かれました。

しかしながら、作付品種が多くコシヒカリの田植えが
個人農家よりも遅い、大規模生産者の方々に
ついては、**10aあたりの反収は8俵半**という声
が多く、中には**8俵しか獲れなかった**という方も
いらっしゃいました。

もう1度作況指数は公表されますが、

今回発表された数字ほどの収量は無いように感覚的には感じています。



令和4年産作況指数

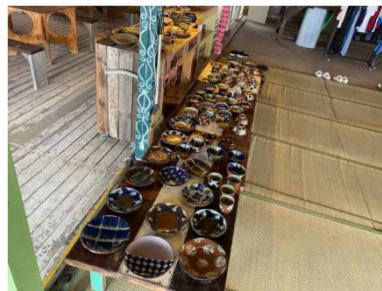
今年は、米の買取価格は上がったものの、結果として収量に悩まされた生産者の方も多い印象を受けます。

しかしながら、品質面の方は当社の等級検査では、概ね1等米の非常に品質の良いお米を集荷することができました。

来年産は、収量・品質共に各農家さんが良い結果で終われるように提案や指導に努めたいと思います。



Vada antiquesさんによる「やちむん市」



購入した器

10月の8日、9日、10日の3連休、

知人が経営している海の家で、東京の吉祥寺にあるVada antiquesさんによる「やちむん市」が開催されました。

1日目は都合がつかず、行くことができませんでしたが、2日目と3日目に家族で行ってきました。

やちむんとは、沖縄で作られる焼き物の総称を指します。

南国感が溢れるカラフルな絵柄のものも多く、沖縄の人々の日用品として親しまれています。

お皿を集めるのも私の趣味の1つで、昔から、やちむんの持つ独特な雰囲気が好きで、少しずつ集めていました。

今回のやちむん市で、素敵な器に出会うことができ、思わずたくさん購入してしまいました。

また、先日我が家のまな板を新調しました。

今回、購入したのは料理研究家の栗原はるみさんがプロデュースしている丸まな板です。

大と中の2種類のサイズを購入しました。

丸いまな板は、面積が広く使ってみると、切れる面積が広いのでストレスなく作業でき、買ってよかったなと思いました。

もし、まな板を新調しようと悩んでいる方がいらっしゃれば、おすすめです。



新調した丸いまな板